



「メセナ アワード 2004」 4月1日から公募を開始 ～ これまでの「メセナ大賞」を“メセナ アワード”に ～

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区有楽町、会長:福原義春)は、2004年4月1日より“メセナ アワード 2004”の公募を開始します。当協議会は、企業の芸術文化支援(メセナ)活動の奨励と発展を目的として1991年に「メセナ大賞」を設け、優れた活動を行った企業や企業財団を表彰してきました。本年度からは、文化庁との連携のもと「メセナ大賞」「文化庁長官賞」の2部門からなる“メセナ アワード”として、活動を募集します。

“メセナ アワード”のもとに2部門を創設

当協議会は、今回で14回目となる顕彰事業「メセナ大賞」を“メセナ アワード”と改称しました。“メセナアワード”では、従来通り、芸術文化の振興に高く貢献した活動を「メセナ大賞部門」にて選考するとともに、社員やその家族一人ひとりの「文化力」^{本ページ下参照}向上に対し高く貢献した活動を「文化庁長官賞部門」にて選考します。これら両部門での顕彰を通じて、芸術文化に対する社会の関心が高まり、企業メセナを推進する環境が整うことをめざします。

メセナ アワード

メセナ大賞部門

文化庁長官賞部門

地域社会に活力をもたらす企業メセナに注目

「メセナ大賞部門」では、芸術文化の向上・普及に果たした役割の大きさだけでなく、メセナを通じて地域社会の活性化を促すような活動にも注目しています。例えば、2003年に「メセナ大賞」を受賞した(財)常陽藝文センター^{3ページ目参照}は、長年にわたる地域文化への地道な取り組みが高く評価されました。今年も、全国各地から、地域に根ざした活動を展開する企業・企業財団のユニークなメセナ活動を数多く募り、芸術文化による地域活性化の成功例を紹介します。

市民、NPO、アーティスト等から、身近な企業によるメセナ活動を募集

「メセナ アワード 2004」では、「メセナ大賞」「文化庁長官賞」両部門とも、自薦・他薦にて活動を募集します。昨年は、アーティストや一般の方から推薦された活動2件の受賞がありました。(ホルベイン工業(株):「新世代支援賞」、(株)松明堂書店:「地域文化賞」^{3ページ目参照})。今回も、市民、NPO、アーティストなどに本賞の募集について案内し、広く一般からの推薦を積極的に呼びかけます。

「文化力」:文化庁は、河合隼雄文化庁長官が提唱する「日本の社会を文化で元気にしよう」の取り組みの一環として、日本の社会の活力を取り戻すために、私たち一人ひとりが持っている「文化力」を発揮することの大切さを呼びかけて、さまざまな活動を展開させています。[文化庁ホームページ <http://www.bunka.go.jp/>]

[本件に関するお問い合わせ先]

社団法人 企業メセナ協議会 広報担当:渡辺 / メセナアワード担当:戸沢、荻原
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン13階
TEL:03-3213-3397 FAX:03-3215-6222
ホームページ: <http://www.mecenat.or.jp/> E-mail: mecenat@mecenat.or.jp

【「メセナ アワード 2004」 概要・募集要項】

主 旨	日本国内に所在する企業および企業財団によって、2003年4月1日から2004年3月31日までに実施された優れた芸術文化支援(メセナ)活動を顕彰する。	
賞	以下の2部門にて、賞を贈呈。	
	A. メセナ大賞部門 (「メセナ大賞」以外は、評価のポイントとなった点を賞名に反映:8件)	芸術文化振興に貢献したメセナ活動 選考ポイント: 芸術文化の向上・普及への貢献度 / 地域文化の醸成 / 企業の主体性・独自性 / 活動の発展性・革新性・継続性など
	B. 文化庁長官賞部門 (「文化庁長官賞」:1件)	社員やその家族に対し、芸術文化活動への参加や鑑賞の機会を提供し、支援する取り組み 選考ポイント: 社員やその家族一人ひとりの「文化力」向上に対する貢献度 / 社会への発信力など
対象分野	音楽 / 美術 / 工芸 / 映画 / 映像メディア / 演劇 / 舞踊 / 文学 / 伝統芸能 / 民俗芸能 / 複合芸術 / 建築 / 文化遺跡・歴史的建造物など 太字は本年度より新設分野	
応募方法	企業メセナ協議会ホームページ(http://www.mecenat.or.jp/)内の応募用紙にて応募。1社で複数件、および上記A,B両部門への応募も可能。	
	自薦	企業や企業財団が自らの活動を応募
	他薦	他企業や他企業財団が行っている活動を推薦
選 考	以下の審査委員により選考 (「文化庁長官賞」の選考には、文化庁担当者が審査委員会に加わります) 池上 惇 (京都橘女子大学文化政策学部長、京都大学名誉教授) 柏木 博 (デザイン評論家、武蔵野美術大学教授) 南條史生 (森美術館副館長) 松岡和子 (演劇評論家、翻訳家) 三善 晃 (作曲家、日本芸術院会員) 森まゆみ (作家、谷根千工房主宰) 渡辺 裕 (東京大学大学院教授<美学芸術学>) 福原義春 (社団法人企業メセナ協議会 会長・理事長)	
応募締切り	2004年5月31日[月] 必着	
発 表	選考結果は、2004年10月初旬に発表(予定)	
贈呈式	2004年12月2日[木] スパイラルホール[東京・港区]にて	
応募先/応募 問い合わせ先	[社]企業メセナ協議会 「メセナ アワード 2004」係 電話:03-3213-3397 FAX:03-3215-6222 E-mail: mecenat@mecenat.or.jp	

1991年から2003年まで、「メセナ大賞」には、述べ2,073件(1,527企業・企業財団)の応募がありました。当協議会では、そのうち103件を表彰し、全国各地のメセナ活動を発掘・紹介してきました。これまでの受賞企業・財団の活動については、ホームページ <http://www.mecenat.or.jp/> をご覧ください。

【添付資料】 「メセナ大賞 2003」 受賞企業・財団の一例 / 贈呈式



メセナ大賞

財団法人常陽藝文センター(茨城県水戸市)
郷土の芸術・文化の発掘と普及 20年目の挑戦

常陽銀行により設立された同センターでは、地元ゆかりの美術家の展覧会やコンサートを開催のほか、語学や創作などの講座を設けて地域住民に活動の場を提供。また、茨城の歴史や文化を多彩な切り口で紹介する冊子「常陽藝文」の発行やビデオ制作にも力を入れている。長年にわたる真摯な取り組みは、約47,000人の友の会会員に支持されている。

文化庁長官賞 [2003年度より新設]

財団法人常陽藝文センター
「藝文友の会」を通じた常陽銀行の社員、家族に対する文化芸術に親しむ機会の提供



地域文化賞

株式会社松明堂書店(東京都小平市)
松明堂ギャラリー・音楽ホールでの活動

87年、書店の地階に多目的スペースを開設。展覧会などのさまざまな企画で、アーティストや地域の人々が集う場となってきた。97年には埼玉・所沢に音楽ホールを設け、古楽を中心としたコンサートを実施。以来、先のスペースをギャラリーと称し、それぞれ美術と音楽の活動でファンを増やしている。



新世代支援賞

ホルベイン工業株式会社(大阪府東大阪市)
第17回「ホルベイン・スカラシップ」の実施

ホルベインの画材を1年間、若手アーティストや美術家をめざす人に無償提供するスカラシップ。奨学者20名に50万円相当の製品を提供するとともに、技術的な問い合わせにも対応。スカラシップ修了時には、『アクリラート別冊』にて作品を紹介するなど、これまでに延べ858名のアーティストの創作活動を支援してきた。



「メセナ大賞 2003」贈呈式
2003年11月27日
於:スパイラルホール(東京・港区)



「メセナ大賞 2003」
トロフィー

「メセナ大賞 2003」全受賞企業・財団の活動は、<http://www.mecenat.or.jp/>で紹介しています。
受賞活動、贈呈式の写真をご希望の場合は、企業メセナ協議会(TEL: 03-3213-3397)までご連絡ください。